～第4回福岡市舗装技術研修会～

今年も福岡市職員の若手技術者を対象にした「舗装技術研修会」が開催されました。

この研修会は平成28年度から実施されており、今年度で4回目の開催です。

福岡市主催で、一般社団法人 福岡市舗装協会および前田道路（株）九州支店の協力のもと実施されています。

今回は「アスファルト合材の基礎および新技術」についての研修です。舗装現場における施工管理や品質管理を主なテーマに勉強しました。

これからも道路事業の発注者と受注者双方の技術交流がさらに進み、この研修会が果たす今後の本市の街づくりへの役割に期待されています。

実施日時　令和元年11月13日（水）　13:30～16:00

実施場所　前田道路（株）福岡東合材工場（福岡市東区東浜）

参 加 者　42名（福岡市職員33名、福岡市舗装協会9名）

新聞記事

九建日報（2019.11.15）

若手職員技術力向上へ

福岡市舗装協会が講習会

（一社）福岡市舗装協会（田中隆臣会長）は13日、福岡市役所の若手技術者の技術力向上を目指した講習会を開催した＝写真＝。講習会はアスファルト混合物の製造、および品質管理方法などについての知見を高めてもらうこと等を目的とするもの。当日は約30人の市職員のほか、同協会の技術安全委員会の関係者らが参加した。

今回の講習会の開催に際しては、前田道路㈱が協力。福岡市東区東浜の同社福岡東合材工場を会場に、同社の技術士らが講師も務めた。

開会に当たり技術安全委員会の下川重光委員長があいさつ。「本日の講習会が皆さんにとって実りのあるものになることを祈念している」と述べ、若い技術者らの技術力向上の一助となることに期待を寄せた。

講習内容は「アスファルト合材の基礎および新技術」について。前田道路の職員らが、アスファルト舗装の構造やアスファルト混合物の配合割合（各種骨材とアスファルトの割合）、合材の作り方等について解説するとともに、福岡東合材工場のプラント設備の特徴などを説明した。

また、市職員らは実際にプラント施設を見学し、前田道路の技術士からどのようにアスファルト混合物が製造、出荷されているのか、等についての説明を受けた。

福岡市舗装技術研修会　資料

アスファルト合材の基礎および新技術

若手技術者の技術力向上を目指した技術研修会

第4回：アスファルト合材の基礎および新技術

令和元年11月

主催：福岡市

協力：（一社）福岡市舗装協会
前田道路(株)九州支店

80～100	100～120
80を超え100以下	100を超え120以下
42.0～50.0	40.0～50.0
100以上	100以上
99.0以上	99.0以上
260以上	260以上
1.000以上	1.000以上
積雪寒冷地域	極低温地域

■ポリマー改質アスファルトH型（H型-F）
ポーラスアスファルト混合物に用いられている。

■セミブローンアスファルト
ストアスを軽度にブローイングしたもので、かつて耐流動対策用アスファルトとして使われていた。

■硬質アスファルト
橋面舗装用材料（グースアスファルト）のバインダとして使用

MAEDA ROAD

（研 修）

スマート
パッチ
マイルド
パッチ
13mm
20kg
福岡市
FUKUOKA CITY
興和道路

スマート
パッチ
スーパー
DRパッチ
マイルド
パッチ
13mm
20kg
マイルド
パッチ
5mm
10kg
福岡市
FUKUOKA CITY

福岡市
FUKUOKA CITY

福岡市舗装協会
MAEDA

福岡市
FUKUOKA CITY

LPガス

KIKUOKA CITY

CAT